

防火部材 タイカブラック®
パテエースG

認定 & 評定 一覧

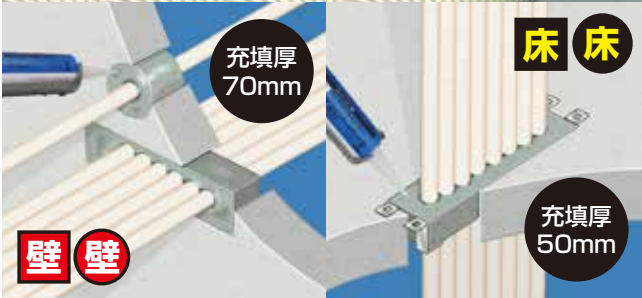


パテエースG

丸穴、矩形開口で電線管貫通

**コーキングガンに装着して、
 ラクラク注入!**

簡単充填!



使用部材

パテエースG

&

床用支持金具

●床はパテエースGの他に補強部材が必要ですが、必要点数が少なく、簡単に施工できます。

パテエースG工法



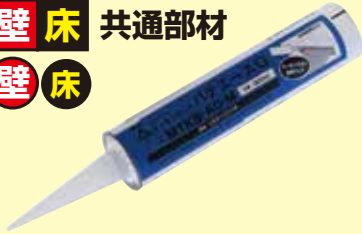
国土交通大臣認定	貫通する壁・床の構造	ケーブル直 (導体断面積) (1本あたり)	CD管	VE管	PF管	開口部		占積率 (%)
						丸穴(mm)	矩形(m ²)	
PS060WL-0541	壁壁 75mm厚以上	—	36以下	42以下	42以下	φ175 以下	0.071 以下	52.3 以下
PS060FL-0550-1	床床 100mm厚以上					φ222 以下	0.071 以下	44.4 以下

(一財) 日本消防設備安全 センター 性能評定	貫通する壁の構造	ケーブル直 (導体断面積) (1本あたり)	CD管	VE管	PF管	開口部		占積率 (%)
						丸穴(mm)	矩形(mm)	
KK23-015号	壁壁 75mm厚以上	—	36以下	42以下	42以下	φ175 以下	403×175 以下	—

タイカブラック® パテエースG

壁床 共通部材

壁床



【性質】

成分：変成シリコーン樹脂(20~30%)

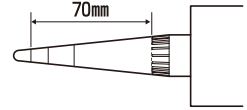
消防法表示：指定可燃物可燃性固体類

別途必要 ●床：支持金具が必要です。

●認定シール評定マーク請求書(返送用) ……1枚

ダークグレー色

- 300℃以上の熱を受けると4倍以上に膨らみ、延焼を防止する充填材です。
- パテエースGを開口部に充填するだけの簡単施工。
- コーキングガンにセットし、隙間にムラなく簡単に充填することが可能です。
- 電動工具等による面倒な切断や加工の必要がありません。
- 床貫通に使用の場合は、施工が全て床上から可能です。
- 同一開口に複数の管を配管できるので、作業効率が良く、コストも削減できます。
- 軽量なので持ち運びにも便利です。
- 耐水性能を有しておりますので、水に濡れても性能が低下しません。
- ノズル先端の切断目安から根元突起部の先端までが、充填厚目安の70mmとなっています。(右図参照)



品番	容量	入数	最小入数	希望小売価格(税抜)
MTKB-AG-M	320ml	10	1	2,910
MTKB-AG-L	760ml	12	1	5,780

※MTKB-AG-Lは大きさに合ったコーキングガンをご使用ください。

パテエース®床用 支持金具

床 補強部材

床

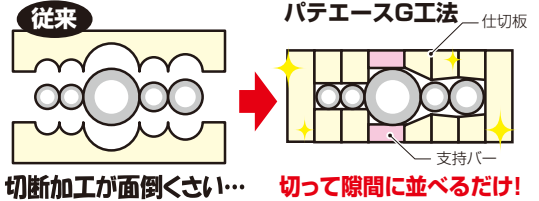
受注品



●踏み抜き注意シール……………1枚

- 床施工の場合にパテエースGと組み合わせて使用します。
- Z支持金具は躯体にアンカー等で固定することもできます。
- 仕切板はカッター等で切れ目を入れれば簡単に折ることができます。従来のように配管の形に合わせて切断する必要がありません。

仕切板の加工



従来 切断加工が面倒くさい…

パテエースG工法 切って隙間に並べるだけ!

品番	適合開口寸法	仕切板枚数	支持バー長さ	入数	希望小売価格(税抜)
MTKB-AZ200	200~250mm	1枚	193mm	1セット	2,900
MTKB-AZ300	300~350mm	2枚	293mm	1セット	3,020
MTKB-AZ400	400~450mm	2枚	393mm	1セット	3,140
MTKB-AZ500	500~550mm	3枚	493mm	1セット	3,240

パテエースG 充填量目安

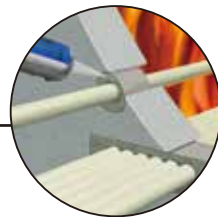
矩形開口 ヨコ×タテ	配管例		充填量(パテエースG)	
	配管径	本数	ml	本数
480×65	φ45.5 (PF管36)	10本	1060	3.3本
390×65		8本	900	2.8本
300×65		6本	700	2.2本
200×65		4本	480	1.5本
380×55	φ36.5 (PF管28)	10本	770	2.4本
310×55		8本	720	2本
240×55		6本	510	1.6本
160×55		4本	350	1.1本
180×55	φ36.5(PF管28) ×2本 φ30.5(PF管22) ×2本		450	1.5本
120×55	φ36.5(PF管28) ×2本 φ30.5(PF管22) ×1本		290	0.9本

円形開口	配管例		充填量(パテエースG)	
	配管径 × 本数	ml	本数	
φ107 (ボイド100)	φ36.5(PF管28) ×2本 φ30.5(PF管22) ×2本	420	1.3本	
	φ30.5(PF管22) ×2本 φ23(PF管16) ×6本	450	1.4本	
φ81 (ボイド75)	φ36.5(PF管28) ×2本	230	0.7本	
	φ30.5(PF管22) ×3本	230	0.7本	
φ56 (ボイド50)	φ36.5(PF管28) ×1本	130	0.4本	
	φ23(PF管16) ×2本	130	0.4本	

- 充填量はあくまで目安です。
- 充填厚さ70mmで試算しています。
- 充填量は320ml入り(品番：MTKB-AG-M)の本数で表示しています。

技術資料

パテエースG パテエースG工法



認定条件 (抜粋)

●国土交通大臣認定

構造		壁 (PS060WL-0541)	床 (PS060FL-0550-1)
開口部	形状	矩 形又は円 形：φ175mm以下	矩 形 又は 円 形：φ222mm以下
	面積	矩 形：0.071m ² 以下 円 形：0.025m ² 以下	矩 形：0.071m ² 以下 円 形：0.039m ² 以下
占 積 率		52.3%以下	44.4%以下
パテエースG充填厚		70mm以上	50mm以上 ※床開口の上端面から
貫通する壁・床の構造		①ALCパネル ・厚さ 75mm以上 ②鉄筋コンクリート造 ・厚さ 75mm以上	①ALCパネル ・厚さ 100mm以上 ②鉄筋コンクリート造 ・厚さ 100mm以上
電線管		<ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411; PF管 外径：φ52mm以下、CD管 外径：φ42mm以下) 硬質塩化ビニル電線管(JIS C 8430; VE管) 外径：φ48mm以下 	
電線管への挿入ケーブル(電線)		<ul style="list-style-type: none"> 導体断面積：325mm²以下 (1本あたり) 総導体断面積：607mm²以下 	<ul style="list-style-type: none"> 導体断面積：325mm²以下 (1本あたり) 総導体断面積：601mm²以下

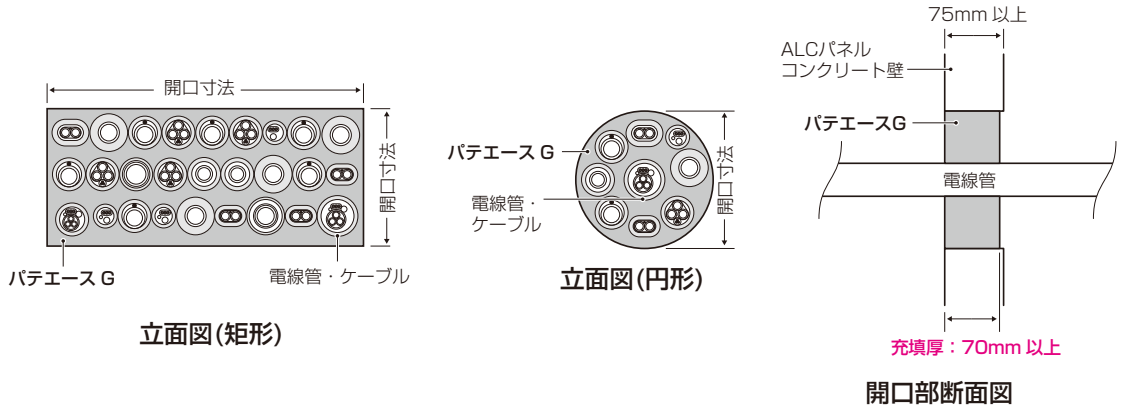
評定条件 (抜粋)

●(一財) 日本消防設備安全センター性能評定

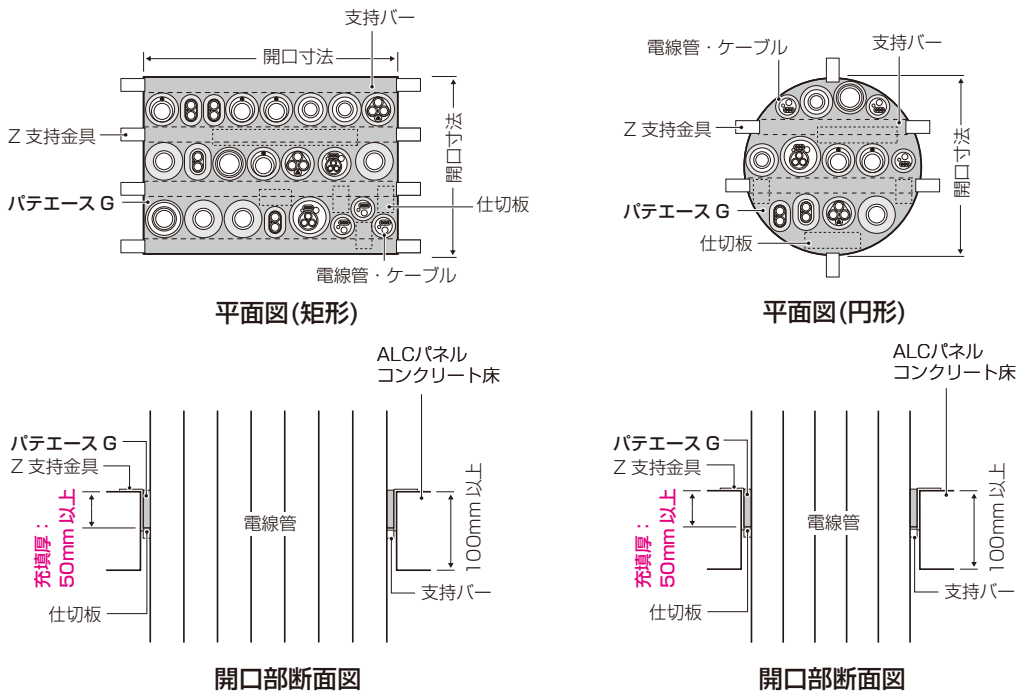
構造		壁(KK23-015号)
開口部		矩 形：403mm以下×175mm以下 円形：φ175mm以下
パテエースG充填厚		70mm以上
壁の構造		・厚さ：75mm以上 ①鉄筋コンクリート/鉄骨鉄筋コンクリート ②軽量気泡コンクリート(ALCパネル)
電線管		<ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411; CD管) 外径：φ42mm以下 1本以下
	挿入線(最大組み合わせ例)	<ul style="list-style-type: none"> 電力ケーブル：CE/F 3×22mm² ×1本以下 EEF/F 3×2.0mm ×1本以下 同軸ケーブル：EM-S-5C-FB ×1本以下 光ケーブル(外径：φ4.3mm以下) ×1本以下
		<ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411; PF管) 外径：(φ52mm以下 1本以下)+(φ30.5mm以下 3本以下) 計4本以下
	挿入線(最大組み合わせ例)	<ul style="list-style-type: none"> 電力ケーブル：CE/F 3×38mm² ×1本以下 EEF/F 3×2.0mm ×1本以下 同軸ケーブル：EM-S-5C-FB ×1本以下 光ケーブル(外径：φ4.3mm以下) ×1本以下
		<ul style="list-style-type: none"> 硬質塩化ビニル電線管(JIS C 8430; VE管) 外径：φ48mm以下 1本以下
	挿入線	<ul style="list-style-type: none"> 電力ケーブル：CV 1×325mm² ×1本以下

標準施工図 (抜粋)

① コンクリート壁、ALCパネル壁 (矩 形又は円 形：φ175mm以下) ……………

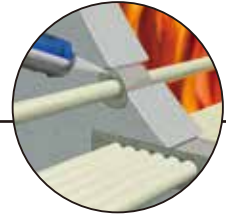


② コンクリート床、ALCパネル床 (矩 形又は円 形：φ222mm以下) ……………



施工要領

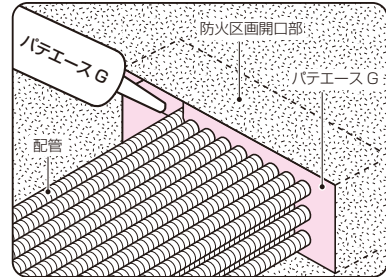
パテエースG パテエースG工法



- 準備 ●開口部にケーブル、樹脂管等を施工します。
 ※ケーブル、樹脂管を施工するにあたり、できるだけ平らになる様に並べていく方が充填材の施工がし易く、隙間が少なく施工できます。

○壁の施工

- パテエースGをコーキングガンにセットし、開口部と配管の隙間に充填します。
 ※壁開口の端部より隙間なく**70mm以上**充填します。
 (注)施工後、反対側からパテエースGが確実に充填できていることを確認してください。

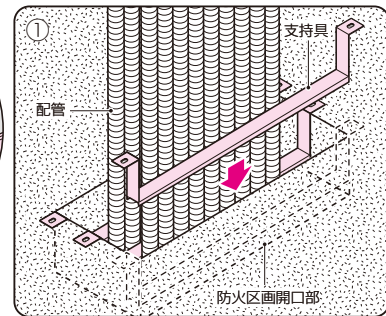
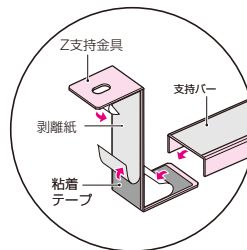


ご注意

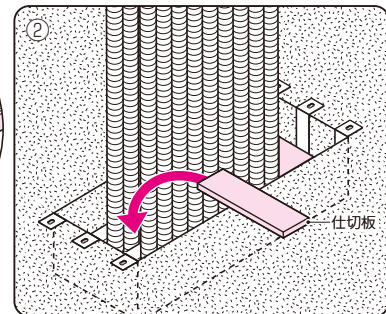
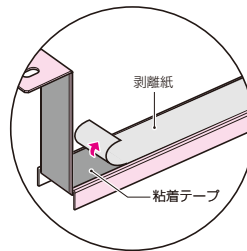
- 施工後、壁の両開口部から充填厚を計り、確実に**70mm以上**充填されていることをご確認ください。

○床の施工

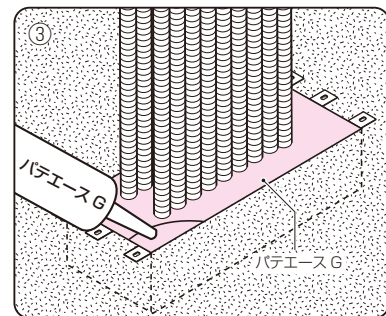
- ①開口部に別売のZ支持金具、支持バーを取り付けます。
 ※開口部に合わせ、支持バーの両側にZ支持金具を貼り付け、躯体にテープ又は、アンカー等で固定します。



- ②支持バーに仕切板を貼り付けます。
 ※支持バーの剥離紙を剥がし、仕切板をパテエースGが落下しない様に支持バーに貼り付けます。
 ※仕切板は開口部と配管の距離に合わせ切断します。
 ※仕切板は、はさみ、カッター等で切断できます。
 ※仕切板と配管の隙間は、パテエースGが落下しないようにご注意ください。



- ③パテエースGをコーキングガンにセットし、開口部と配管の隙間に充填します。
 ※床開口の端部より隙間なく**50mm以上**充填します。

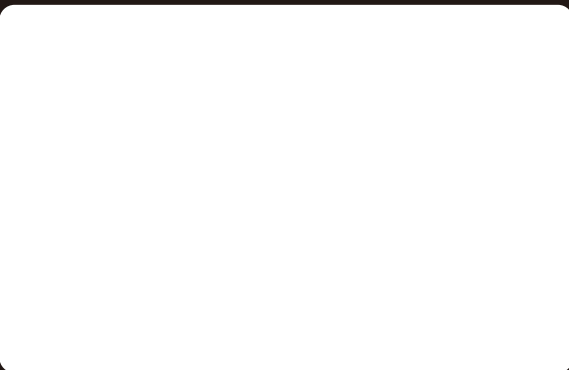


ご注意：パテを使用する場合、施工要領に従って正しく施工してください。必要以上に多く盛り過ぎると落下する恐れがあります。



防火部材
タイカブラック®

パテエースG



※このカタログに掲載しております商品の価格は1個単位(1組単位)の価格です。但し、価格欄に単位表記があるものについては、その単位での価格となります。
 ※このカタログは、2023年5月現在のものです。このカタログは専門業者様向け、当社との業者間取引用です。(当カタログからの無断転載はかたくお断りします。)
 ※このカタログに掲載しております価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が附加されます。
 ※沖縄及び離島価格は、別途お問い合わせください。

〒MTKB-AG(2)



未来工業株式会社

JIS認証取得

本社：岐阜県安八郡輪之内町輪保1695-1 〒503-0201 TEL(0584)68-0001(代) FAX(0584)69-3900
 支店：仙台 TEL(022)367-8250(代) FAX(0584)83-0235 新潟 TEL(025)269-0269(代) FAX(0584)83-0865
 東京 TEL(03)6527-3942(代) FAX(0584)83-0645 名古屋 TEL(052)957-2733(代) FAX(0584)83-0650
 大阪 TEL(06)6765-4610(代) FAX(0584)83-0654 中国 TEL(087)892-2040(代) FAX(0584)83-0659
 福岡 TEL(092)937-2215(代) FAX(0584)83-0326
 営業所：札幌 TEL(011)663-3233(代) FAX(0584)83-0233 旭川 TEL(0166)21-8848(代) FAX(0584)83-0234
 盛岡 TEL(019)637-7097(代) FAX(0584)83-0231 仙台 TEL(022)367-8250(代) FAX(0584)83-0235
 郡山 TEL(024)991-8898(代) FAX(0584)83-0232 新潟 TEL(025)269-0269(代) FAX(0584)83-0865
 松本 TEL(0263)97-3141(代) FAX(0584)83-0517 北陸 TEL(076)292-3611(代) FAX(0584)83-0830
 水戸 TEL(0235)52-2155(代) FAX(0584)83-0643 北埼玉 TEL(048)652-9221(代) FAX(0584)83-0644
 東京 TEL(03)6527-3942(代) FAX(0584)83-0645 千葉 TEL(043)227-1605(代) FAX(0584)83-0646
 横浜 TEL(045)313-5591(代) FAX(0584)83-0647 静岡 TEL(054)236-1505(代) FAX(0584)83-0648
 名古屋 TEL(052)957-2733(代) FAX(0584)83-0650 大垣 TEL(0584)68-0002(代) FAX(0584)83-0652
 大阪 TEL(06)6765-4610(代) FAX(0584)83-0654 神戸 TEL(078)574-0468(代) FAX(0584)83-0656
 高松 TEL(087)892-2040(代) FAX(0584)83-0659 岡山 TEL(086)921-2305(代) FAX(0584)83-0663
 広島 TEL(082)545-8280(代) FAX(0584)83-0664 福岡 TEL(092)937-2215(代) FAX(0584)83-0326
 大分 TEL(097)589-8570(代) FAX(0584)83-0325 長崎 TEL(0957)43-0575(代) FAX(0584)83-0327
 熊本 TEL(096)38-5622(代) FAX(0584)83-0328 鹿児島 TEL(099)250-6311(代) FAX(0584)83-0324
 沖縄 TEL(098)694-6461(代) FAX(0584)83-0323
 工場：山形、茨城第1、茨城第2、茨城第3、大 塚、垂 井、熊本第1、熊本第2

ホームページ <https://www.mirai.co.jp/> Eメール mirai@mirai.co.jp